



MONTHLY

かわせみ通信

2月号

2015年2月

Vol.66

発行所 株式会社 東海テクノ

本社/三重県四日市市午起2丁目4番18号 (〒510-0023)
TEL.059-332-5122(代) http://www.tokai-techno.co.jp

未来に生きる民への期待 ~妄想力の巨大市場~

昨年夏に出荷されたオキュラス・リフトの開発者向けHMD（ヘッドマウントディスプレイ）と開発キットは、今までのVR（バーチャルリアリティ）系ハードとはその没入感も価値感においても一線を画す製品としてゲーム業界のみならず様々な業界の注目を集め続けている。フェイスブック社がオキュラス社を2000億円で購入した時点でささやかれた「高い買い物」の声も今はない。オキュラス社はさらにHDMにおいてもサムスンと更に低コストを実現するハードを開発。残念ながらこのHDM分野において日本は一步も二歩も遅れているのが現状であるが、VRははるか過去から人類の夢でもあり、日本でも少しずつではあるが進化してきた。例えば名古屋市中川区にもある4DXシアターの「パシフィックリム爆音上映会」には3D映画と同期して稼働する座席や風、水しぶきなどの仮想現実を体験するために全国から観客が訪れる。将来はオキュラス・リフトとダイ

ビングブルさえあれば、「今日のお昼休みはモルディブの海でダイビング」も可能になるだろう。VRはある意味「脳をだます」技術であるが、五感の中で「視覚」「聴覚」「触覚」はほぼ完成の域に達しつつある。課題となるのは味覚と嗅覚。東京工業大学の中本高道教授の



パシフィックリムのオキュラス VR ソフトも開発進行中

チームは、色彩が3原色から全ての色彩を再現できるのと同様に、香りもいくつかの要素臭を元に様々な香りを再現できればと考え最終的には香りのインクジェットプリンタのような装置開発に挑んでいる。こうしたVRの没入感を更に高めるハード開発もさることながら、まだまだ不足するソフトウェアのアイデアや開発力において日本に大きな期待が集まっている。先述のオキュラス社は開発キットの日本優先出荷を公言しているが、これは「コミケ」にも代表される日本の開発者のコミュニティ基盤に期待しているものである。かつて戦場ものやレースものなどリアル中心のゲームに妄想の世界を持ち込み、また飛行機全体にアニメを描くなどあらゆるシーンにかわいさを追求したり、初音ミクというバーチャルアイドルを生み出したりと、海外から「未来に生きている」と呼ばれる独特の感性の民の出番を待つ巨大な市場がそこに拓けているのだ。

「セミナーのご案内」ISO内部監査員養成セミナー 平成27年度開催日程 決定

当社では毎年、定期的にISO内部監査員養成セミナーを開催しております。平成27年度の日程が決まりましたので、お知らせいたします。今年度は2015年改訂版の発行が予定されているため、随時改訂動向を織り交ぜながら開催する予定です。また従来どおり、各企業様で開催する出張セミナーも随時受け付けております。関心をお持ちの方、現在は遠方で受けられている企業様、ぜひ一度お問い合わせいただき、ご検討ください。お待ちしております。

内部監査員養成コース(2日間) 9:00~17:00

開催日	ISO14001	2015年5月21日(休)・22日(金)
		2015年9月3日(休)・4日(金)
		2015年11月12日(休)・13日(金)
	ISO9001	2015年10月1日(休)・2日(金)
参加費用(税抜)	1名様につき：28,500円 ※テキスト・資料・昼食・修了証書が含まれます。	

会場：東海テクノ 本社 ※詳細は当社ホームページをご覧ください。

ISO 2015年版 改訂動向について

数年前から改訂に向けての作業が進められており、いよいよ今年2015年には発行される見通しとなってきました。とはいえ、日本語版を確認できるのは今年の後半になりそうです。大きく変更になる点としては、①他のISO規格との共通化への対応（構成についても、すべての規格が共通化されるため全て10章構成に変更）②リスクマネジメント規格への対応（ISOを経営に有効活用しているか）が強化のポイントです。ISOの構築・運用に係る負担

は旧版より軽減されそうなのですが、「結果」ではなく「過程」を重視されることによる文書化もあり各社によって対応は異なってきそうで、合言葉は「要文書化」です。ただ、目的や考え方は大きく変わることがないため、現在の規格に基づいたシステムと新しい要求事項との照らし合わせ、不足資料の作成が主な作業になるうかと思えます。改訂に合わせたセミナーも企画できればと考えておりますので、随時ご案内してまいります。

	ISO 14001 改正スケジュール	ISO 9001 改正スケジュール
2014年: 11月		
2015年: 2月2日~7日	FIDS (最終国際案) 作成	FIDS (最終国際案) 作成
4月		
5月	FIDS に対する 2ヶ月間投票	
6月		
7月	ISO14001:2015 発行	
8月		FIDS に対する 2ヶ月間投票
9月	JIS Q 14001:2015 発行 (日本語版)	ISO9001:2015 発行
10月		
11月		
12月		
	3年以内に新規格への移行が完了	3年以内に新規格への移行が完了
2018年: 5~6月		
2018年: 8月		

※スケジュールは予定のため、今後変更される可能性があります。

教えて! かわせみ先生

日本のワカメが
海外では嫌われ者って
聞いたけど、なぜ?

それはバラスト水の話だね。空荷の貨物船などの安定航行を図るためタンクに入れる海水「バラスト水」に外来種が交じり、寄港地で排出されることでその地域の海洋の生態系に悪影響を及ぼしている問題があるんだ。ワカメは繁殖能力が高く海外の港で嫌われているのは事実のようだけど、逆に日本でも外来種の貝が日本の在来種の生存を脅かしている問題も浮上しているよ。国際海事機関(IMO)によると、年間約120億tのバラスト水が世界中を移動していると推定されていることに対応して2004年に国際条約(バラスト水規制条約)ができたけど、発効要件が満たされずまだ発効できていないんだ。現在は経過措置がとられているけど、この条約の発効要件が近々満たされそうなんだよ。それに伴って、日本でも2014年6月に法が成立して条約の発効とともに施行される見通しで、悪影響を及ぼすバラスト水の寄港地での排出は禁止され、船舶にはバラスト水の処理設備の設置が義務付けられるんだ。処理方法としてフィルターやUV、薬品などを利用した技術が承認され排出基準も決められているけど、現地で大量にサンプリングして詳細な生物試験のできる機関は日本にほとんどないのが現状だから、日本が国際的な信用を無くさない為にも、早急に国内体制の整備が必要だね。

社員プチコラム

北島 和成 (四日市分析センター フィールドGr)

子育ても3年目に入った北島です。子供がいろいろと興味を持ち始めたので、最近非常に興味を持っている消防車を見に、1月中旬に四日市ドームで行われた出初式に行ってきました。毎年行われているようで、四日市市内の各消防署とコンビニート各社の消防車や消防船、防災ヘリが参加していました。イベントでは、日頃見ることのできない陸海空にわたる一斉放水や音楽隊による演奏等、子供が目を輝かせているのを見ることができ、楽しく過ごすことができました。よい家族サービスの1日になったので、来年も見に行きたいと思います。



編集後記

今回のISOの改訂についてはよくご質問をいただきありがとうございましたので、ご案内させていただきましました。私も担当者の一人です。不安が先走っていたのですが、3年の猶予期間があり、日本語版が出てからでも遅くはない!と分かり少しホッとしております。(たくほん)

